



複写 NEWS

No.264 平成 28 年 2 月 1 日発行

Table of contents

平成 28 年新年互礼会開催	3
読者参加フォトページ	7
販売促進感動営業実践（b y P O D）プログラム 2 回目開催	11
M O T O Y A コラボレーションフェア開催	11
Bizhub Fair 2016 コニカミノルタセミナー開催	13
ほっと一息 “チョコシンフォン”	14
編集後記	15



平成 28 年新年互礼会開催

今回から司会を務めます日笠専務理事の開会の発声の下、新年互礼会の開会です。まずは、河村新理事長のご挨拶です。

新年明けましておめでとうございます。かくも盛大に本日は 92 名のご参加のもと、新年互礼会を開催することができました。今年のお正月は非常に温暖で、やっと普段の気候になってきました。

平素は組合員、賛助会員の皆様には大変お世話になります。理事を代表して心よりお礼申し上げます。

さて、昨年 6 月に元楠本理事長のバトンを引き継いで早 6 ヶ月が経ちました。その 6 ヶ月の間に日本複写産業協同組合連合会事務局を近畿複写産業協同組合の事務局で引き継ぎ、事務局一同慌しい思いで過ぎ去ったように思います。

今年は、業界として大きく変化をする一年ではないかと思っています。われわれの業界というのは思い起こしますと、複合機のメーカー様と共にビジネスモデルを一つ一つ作り上げてきたと実感しています。それは何かといいますと、それは今も脈々と続く単価ビジネスということです。印刷業界は積算で見積もりを出しますが複写業界は単価で見積もりを出します。企業文化の違いは大きいですが、それがやっと業際をなくしてきたと思われる時代と認識しています。

この 3 月にはその一つの商材が 90 年の歴史を終焉するわけですが、その商材は過去のものとして新たなビジネスモデルを作っていかなければならない、というタイミングであるということにおいても変化を受容しないといけない時代に入っているのだと思います。

言うまでもなく一社で生き残る時代ではないとは 90 年代の後半から言われてきたことですが、我々のビジネスにおいても強み弱みそれぞれお持ちだと思います。それをお互いに補完をして、そして我々のお客様へビジネスを提供することそれに注力しないといけない。色々なお客様の情報に敏感になって新たに提供するサービスを見つめなおしていけないといけない時代だと認識しています。

組合というのはそういった情報が集まる場、色々な業界の方が積極的に集まってお互いに情報発信をし、そして組合からも有益な情報を発信する場としたい。

複写ニュースもその一環として発刊しています。

そんな情報の発信の場の中で組合員様、四国から二社、賛助会員様一社同意を頂いて新たに加入し、本日お越しくださっています。本当に有難うございます。我々有意義な活動になるように、理事全員が知恵を絞って、進めて行きたいと思います。

そして今年は複写連大会を近畿で行います。「大人のプレミアム合宿」ということで近畿の奥座敷有馬温泉で、10 月 28 日に開催をいたします。これは全国のご同業の皆様、及び賛助会員の皆様が一同に集って、新たなサービスやビジネスの提供に向けて原則宿泊の合宿形式で開催予定です。

記憶に残る大会にしようとスタッフ一同企画しておりますので、今日ご参加の皆様全員出席ということで心よりお願いしたいと思います。楽しみにしててください。

最後に今日ご出席の組合員様・賛助会員様の社業の益々のご発展を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本日は精一杯交流してってください。有難うございました。

続きまして、ご来賓のご挨拶。



大阪府中小企業団体中央会事務局長 横田 荘司様ご挨拶。

皆様新年明けましておめでとうございます。

本日はご盛会お喜び申し上げます。また日ごろは中央会諸事業にご支援ご協力を賜りましてこの場をお借りしましてお礼申し上げます。

今年の干支は申ということで、良くないことは去り、人偏をつけますと伸びるとなり喜ばしい年と言われています。皆様の業界にとりまして発展の年となりますようお願いしております。

さて、景況についてですがアベノミクス効果により円安株高が年をあけてから続落という状況ですが、景気は回復基調にあるといわれています。

しかし中小企業をとりまく環境といえますのは、人材不足、先行き不透明感、原材料高の高騰に加えて中国経済の減速といったことにより厳しい状況が続いていると認識しています。

そのような中で昨年12月末に3兆5千億円規模の補正予算が閣議決定され、合わせて今年度当初予算は96兆円と過去最高の予算が閣議決定され現在審議中です。経済対策の功をそうして大阪の中小企業の皆様隔々まで利益の回復実感ができる年であって欲しいと願っております。

3兆5千億円の補正予算の中に中央会が中企庁から委託を受けたものづくり補助事業「ものづくり新展開補助事業」新たな設備投資に対して3000万円補助が出る、これまで1000万でしたが3000万1000万500万円の補助事業が作られました。詳細についてはまだ発表されていませんが補助金が形成される予定になっています。

中央会では3年間で3000を超える事業所様に3億をこえる補助金を交付させて頂いて来ました。この機会にチャレンジして頂ければと思っています。このほかにも各種相談セミナーを実施しておりますので、ご活用いただければと思っています。

終わりに近畿複写産業協同組合の益々のご発展とご参加の皆様にとりまして実り多いすばらしい年となりますよう祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。有難うございました。



続きまして、富士ゼロックス株式会社麻生修司執行役員挨拶。

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。新年明けていきなり大きく株価がふれたというような事もあって、私たちを取り巻く事業の環境は変化することが常態化し、大きく変化が次々起こることが常態化しています。また、スピードが旧来に増して早まっていると感じます。

日本は、2008年のリーマンショックあたりまでは経済の状態は戻ってきたのかなと思いますが、決定して違うのが、第4次革命、IoT、ロボット、AIビッグデータ等の進化であり、それらに乗り遅れないこと、何とかPODの付加価値に結びつけること、プリント業務の効率化はもちろんIoTとの進化一体化による付加価値をいかにとっていくかということがまさに大きなチャレンジの入り口じゃないかと強く思っています。

そういう観点から富士ゼロックスは特に力を入れたい領域として「グローバル（グローバルとローカル）とオートメーション」というキーワードでPODビジネスを拡大したいと取り組んでいます。

お客様価値創造センター・地域創生プログラムを、PODを活用して推進していきたいと思っております。

また、フォトブックの市場がおおきくなってきましたので自動化を実現し、今年はパブリッシングの自動化をはかり POD 業務の効率化を図って推進するお手伝いを行いたいと思っています。

このように変化、IOT との進化の融合、スピードに関しこれまで以上に皆様と一体となった活動をしたいと思っておりますのでパートナーとしてお付き合いいただきたいと強く思っております。最後に新しい年が近畿複写産業協同組合にとりまして、実りの多い1年になること、ともに変わらぬご指導ご鞭撻を頂きたいということをお願いして私のご挨拶にさせていただきます。



続きまして、リコージャパン株式会社執行役員太田謙治様挨拶。

皆様、明けましておめでとうございます。また新年互礼会の開催おめでとうございます。新年は暖かいスタートを迎えまして、また昨年河村理事長・役員新体制もいい感じでスタートが切れたのではないかと思います。

ただ、経済状況はというと変わった感はなく何となくスタートきつたかなという感じがします。皆様と微力ながら賛助会員われわれも盛り立てて行きたいと思っております。

我々のビジネスに追い風となるものは個人的には無いなという気持ちです。我々のビジネスは世の中の景気動向で良くなったり悪くなったりするものではなくて自らの努力でビジネスを立ち上げていくことが重要だと思いますし、そのような経済状況の中ですが、プリン

トボリュームは年々UPしておりますし、いろいろな形で情報も拡大しています。

皆様は情報を扱うプロフェッショナルですのでデジタルサイネージを活用したビジネス、ジアゾに代わるビジネスを立ち上げておられる方も沢山おられるので我々の一番得意分野である情報を活用した新たなビジネスを共創できたらと考えております。

今年は申年ですが申というのは元気のシンボルと思っておりますので近畿複写産業協同組合の皆様と一緒にこの一年すばらしい年にしていきたいと思っております。“KFGG、その心は近畿複写産業協同組合元気ががんばるぞ！”

いよいよ乾杯となります。



乾杯のご発声を頂きましたのは、キヤノンマーケティングジャパン株式会社大阪支店長植月裕道様。

明けましておめでとうございます。1月から近畿複写産業協同組合担当させていただきます、若輩者ですがよろしくお願い致します。

昨日福味副理事長にお話を伺い、今年は転換期であるということで、ここに集まるメーカーの皆様と切磋琢磨しながらより活性化できる提案をしていかなければいけないと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

近畿複写産業協同組合皆様のご発展と今年一年がすばらしい年となりますことを記念いたしまして、乾杯！

その後は司会者から「一度お席におつき頂き、お食事をお召し上がりください」とお声がかかるほど交流懇親が深められました。

続いて、新規に加入いただきました、組合員様、賛助会員様をご紹介いたしました。

新規組合員 愛媛県新居浜市株式会社イメージテック山田強様



四国は協同組合がなくなり横のつながりが無い状態です。近畿複写産業協同組合に加入させて頂き、情報を共有させて頂き、交流を深めてまいりたいと思います。

新規加入賛助会員 大阪市中央区 株式会社モトヤ古門慶造様

河村理事長からお声を掛けて頂きました。いろいろな補助金制度をとおりましたら、安く機械をお求めいただけるようお手伝いをさせて



頂く印刷機材の商社でございます。それぞれのメーカー様の機械を扱っているのでそれぞれの機械の特徴を存じております。皆様方のお仕事にぴったり合う機械をお勧めできると思います。今月 29 日 30 日には大阪でコラボレーションフェアを開催致します。印刷業で強みを持つ企業や仕事の流れをご紹介いたしますのでぜひご来場いただきたいと思います。

その後は恒例になりました、お楽しみ大抽選会へと進みます。

今年度もご参加いただいた皆様方全員に賞品が渡るようご用意しました。

皆様に気に入って頂けたら幸いです。

いよいよ会は中締め、閉会の辞に。福味副理事長挨拶。

毎回の会は人数が増えてますます盛り上がってきています。しかし、世の中は、今年は厳しい



です。メーカー様はよい製品を出しすぎです。パソコンから複合機と併用できて、使いこなせる人は何割いるのでしょうか。よすぎる機械は買い替えが難しいです。ジアゾが終焉を迎えます。その 2・3 坪の場所に新しい機械を勧めてください。販売店には安くお願いします。今年 10 月に有馬温泉で近畿大会があります。真田丸のごとき、関西には追い風が吹いています。温泉につかって裸で語り合しましょう。全国の業界の年配の方々にも来ていただきましょう。よろしくお願い致します。

最後は、一本締めでお開きとなりました。

新春のご多忙の中、沢山の方にご出席賜りまして誠に有難うございました。深く御礼申し上げます。



新年互礼会にご出席の皆様方









販売促進感動営業実践（b y P O D）プログラム2回目開催



平成 28 年 1 月 16 日富士ゼロックス(株)ドキュメントコア大阪セミナー
ームにて販売促進感動営業実践セミナー第 2 回目を開催致しました。

(内容)提案の基本を学ぶ

(狙い) POD ソリューションによる提案書を作成する。

**1 部]POD を活用した効果抜群の売上向上事例と販促事例について~POD
で使える！？マテリアルの活用~** 富士ゼロックス関東(株) 塚本猛様講演

* 市場は高付加価値の物を求めている。

→個に落とし込んだ商材は受ける！特別感・驚きと感動！おもてなし

*お客様とのコミュニケーションの強化を求めている。感情に訴求する！提案にストーリー性を持たせる！

→マテリアルの活用・アイデア次第で色々な事が出来ます！

→高粗利商品の生産が可能！PODはアイデア×コンテンツ×マテリアル やり方次第で可能性は無限大！

[2 部]お客さまの気持ちを知るためのユーザーモデルのご紹介 富士ゼロックス(株) 小澤一志様講演

人と人とのコミュニケーションの向上を目的としたメディア作りを考える際にその出来栄の善し悪しを決めるのは受け取り手である人です。コミュニケーションの主体である人の多様性は、そのコンテキストに応じてコンテンツを作り分け、デザインに工夫を凝らし、その人とのコミュニケーションの取り方をその人に合わせて最適化する必然性を生みます。

[3 部]収益向上の為のご提案 集客率の強化&再来店率の向上 夏休みの帰省客をターゲットにした集客強化とリピート率の向上 (新エリアマーケティングによるDM発送と店内掲示 ポイント制の細やかな設定。

次回は 2 月 13 日 (土) 富士ゼロックス(株)ドキュメントコア大阪 10:00~

MOTOYA コラボレーションフェア 2016 開催

2016 年 1 月 29 日 (金) 30 日 (土)

OMMビル(株)マーチャндаイズ・マートにてMOTOYA
コラボレーションフェア 2016 が開催されました。

「顧客と共に栄える」を社是とし、創業 93 周年を迎えた

我々は、「元気な印刷業界」の実現に役立ちたいと考え平成 14 年以来、皆様がお持ちの「自社の強み」を共有して付加価値の高い印刷物を創出する「印刷作業のコラボレーション」をご提案し、そのお手伝いの一つとして「自社の強み」を積極的にアピールし、他社に活用してもらう印刷作業のコラボレーションの場「モトヤコラボレーションフェア」を大阪、東京、神戸で開催しております。景気低迷の下、長く続いた価格競争の結果、昨今では、「付加価値の創出」という印刷業界が持つ「強み」が忘れられています。日本経済に復調の明るい兆しが見え始めている今こそ、「自社の強み」を互いに共有しあう「印刷作業のコラボレーション」実現で、価格ではなく高い付加価値で勝負する「儲かるビジネス」を創出し、「元気な印刷業界」を実現して頂くことが私どもモトヤの願いです。そのビジネスパートナーを見つけて頂く場としてこのMOTOYA コラボレーションフェア 2016 が開催されました。また、当日、P-1 グランプリ 2016 も同時開催されました。それは、日本の中心地として栄えた関西には、商業や物流発展と共に全国各地の食材が集まってきたことから、様々な食文化が発達しました。そんな「関西の食」をアピールするポスターコンテストです。近畿複写産業協同組合の組合員様も出展されていました。事務局は早速投票いたしましたよ。さて、そのようなコラボレーションの場を少し紹介致します。

富士ゼロックス大阪(株)とコラボレーション大昭和印刷紙業(株)様

カッティングされた紙を使って飛び出す？名刺を作成されていました。飛び出し方から一緒に案を練ってくださるそうです。



コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)とコラボレーション内藤印刷(株)様

地域の良さを知っていただく、写真ではない、イラストによる提案。

全国各地から問い合わせが殺到されているそうで、イラストを見ていると、なんだかほっこり癒され、その土地に行ってみたい気持ちになります。

キヤノンマーケティングジャパン(株)とコラボレーション(株)TOP印刷様

モノクロ印刷に特化したTOP様にうってつけのOcé Gemini テクノロジーによる1パス両面同時印刷で1分間に最高314ページの高速出力できる

Océ VarioPrint 6000 Ultra+シリーズ機のコラボでした。



他に気になってお話を伺ったのが、ソフトウェア出展の(株)ウイズ様。FIL&CARMのご紹介。

FILは、印刷物とその成果をつなげる架け橋で、簡単にARを体感させる汎用プラットフォームシステムで、CARMはAR技術を活用し、生きた販促戦略を考案する、専用アプリ製作システムです。よくスマホをかざすと、動画がみられたり、その行動から販促戦略も考案するというもので、スマホをかざした人がどこに住んでいて何時ごろみて、その後どう行動したかによって考案するのです。

sun-Q(株)様。スマートフォンスピーカーのご紹介。ポリプロピレンに広告印刷し、かさばらず、簡単に組み立てられ、受け取ってもらいやすく捨てにくい。その後飾れてスマートフォンの音が綺麗に反響し、印刷場所を工夫し見えやすくすればQRコードや



QRマーカのアクセス率が上がる印刷物です。新感覚のノベルティとして使えます。

緑屋紙工(株)様。別注封筒ならお任せくださいと、最小35mm×55mmまで加工OKだそうです、小さなぼち袋や名刺と同じ大きさの封筒に入った名刺型封筒を見せて頂きました。

別注封筒では、内容物用途に応じた提案やオリジナリティを出すことができ、他社の差別化を図った提案ができるとのことです。

(株)チャレンジファイブ様。フィルム封筒で他社と差別化を図る商品です。

500枚から印刷可能で、UV印刷フルカラーで、安全でクリーンな素材を使用、展示会・セミナー・店舗などで利用すると持ち帰って頂きやすく、PR効果も抜群だそうです。他にはゆうメール専用A4透明封筒を作られていて、局印指定ラベルも不要でテープ付きで糊つけもなく便利です。



(株)ダイム様。色校正と本刷りで色の差をなくした印刷ができるとのことでした。見せて頂いた見本では細かなレース状の印刷物ではにじんだようになるものも、くっきりはっきり印刷できていて並べたらはっきり違いがわかりました。クリエイターさんは喜ばれると思います。

組員様が応募されたP-1 グランプリ出展作品



投票者には松岡製菓の満月ポン(みつきちちゃんパッケージ)等を贈呈。



他にもセミナーや資料コーナー、イベントコーナーでは筆跡アドバイス体験やハンドマッサージ、補助金、助成金のご相談コーナーなどもあり盛りだくさんなフェアでした。

Bizhub Fair 2016 コニカミノルタセミナー開催

平成 28 年 2 月 4 日 マイドーム大阪にて開催 14:00~15:00
コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)は、「変化の激しい時代、何から手を付け、どこに課題があるのか、具体的なアクションが起こればいい等々、働き方変革に関するセミナーを開催。

そこで、「平成 27 年 12 が月から来年度にかけての企業実務にかかわる法改正」セミナーに参加しました。

1. ストレスチェック義務化 2015 年 12~

2. 年次有給休暇 5 日以上取得義務化 2016 年 10 月~または 2017 年 4 月~

日本の有給休暇取得率は 47.6%これは多いと思いきや新興国では最下位で、米国では 100%であり、安部首相はWHOから改善を迫られているそうです。

そこで使用者が、10 日以上の有給休暇を付与する労働者に対して、1 年に 5 日について年次有給休暇の時季を指定して与えることが義務付けられます。

違反事業者には、罰金 30 万円を科する予定で合わせて残業割増率の引き上げも実施予定だそうです。

しかし従業員が自発的に取得されない場合・・・

効果的な制度のたとは？

* 計画的付与制度の制定（夏季・年末年始に有給休暇を一斉付与し大型連休とする。日曜日と祝日の間を有給とし、連休をつくる）

* 有給の時間単位付与の制定（半日単位で取得可能とし、取得による業務への負担を軽減する）

3. 消費税 10%と軽減税率 2017 年 4 月~

出展会場には様々な企業が出展されていました。

* コニカミノルタビジネスソリューションズ(株) 1 台 3 役の次世代色計測ツール F D-7/F D-5/F D-9 の出展紹介



* (株)ヤマイチテクノ（当組合理事会社）

3D レーザースキャナと

画面をクリックするだけで自動で電話発信システムの紹介。

（簡単に大量に電話を発信する企業のためのシステム。簡単操作システム）





今回のテーマは“I LOVE 家族”です。



材料(20 センチ型)

- 1.卵黄 4 個 2.米油 65g 3.湯(風呂の湯温(40 度)位)85g4.薄力粉 120g
5.ココア 20g(粉チョコレート可)6.ベーキングパウダー4g7.卵白 5 個 8.グラニュー糖 140g
9.生クリーム 200cc 10.チョコレート(クリーム用)40g11.牛乳 40cc (卵L寸 70g弱)
作り方 (制作時間約 80 分)

下準備: 1.お湯を沸かす。

2.チョコレートを刻む(小さいものを用意してもよい)

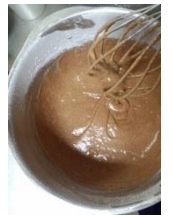
3.氷を用意する。4.粉類を一つにし、ふるっておく。

5.白身を前日に冷凍し、作り始める前に少し溶ける程度にもどす。

1.黄身に米油とお湯を入れ表面に薄い泡の膜ができるように混ぜる。



2.1 に薄力粉とベーキングパウダーとココアを振り入れ底から混ぜる。



3.戻しておいた白身にグラニュー糖を入れ角立ち少し手前迄泡立てる



4. 泡立てた白身の 1/4 を 2 に入れて白身をなじませ、それを残り 3/4 へ戻して混ぜる。



5.型に入れて 170 度 40 分中段で焼く。

6.焼いている間にチョコレートクリームを作る。

チョコレートに牛乳を入れ湯銭で溶かし、10 度まで氷水で冷やす。

7.生クリームに冷えた 6 を入れ氷で冷やししながら 8 分くらいあわ立てる。

8.焼けたケーキを 20cm 位の高さから落とし型を逆さにして冷ます。

9.冷めたら型からはずし、チョコレートクリームを塗り完成させる。

飾りはお好みでチョコレートやナッツ類を飾ってもよい。

生ものを飾らなければ冷蔵庫で日持ちします。

休みの日に作って家族みんなで召し上がってください。



お願い:

本紙は組合員様に組合活動を出来るだけ詳しくお知らせし、よりご理解をしていただく目的でお届けしています。お手すきのお時間にご
回覧頂き、是非ともお読みください。

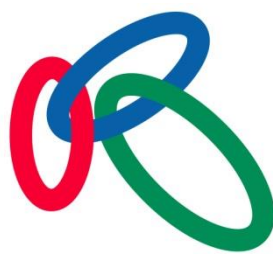
発行:近畿複写産業協同組合
〒541-0043
大阪市中央区高麗橋 1 丁目 5-6
TEL06-6201-4766
FAX06-6201-4768
発行責任:河村武敏
監修責任:桑田鞠比古
編集制作:小野恵美子
問い合わせ:info@kinkifukusha.sakura.ne.jp

編集後記

この年末・年始、群馬県万座温泉で“温泉&スキー”を満喫してきました。その復路、当時の政権が自民
党から民主党に変わり、その象徴でもあった「コンクリートから人へ」のハッ場ダムに立ち寄ってきました。

当時、よくテレビに映っていた建設途中であった橋は立派に完成し、その橋から工事現場（貯水池になると
ころ）を見下ろすことができました。年始でもあり工事は行われてはいませんが、あちらこちらに重機
がおかれていました。真下には吾妻川（利根川に合流）が流れ、そしてレールの無い線路とおぼしき盛土が続き、
川を横切るアーチ型の鉄橋もそのまま残っていました。今は住居もすっかり取り払われていましたが、いか
にもそこに「街」があったことは、地形から見て十分に窺えます。真下から眼を左右に転じ俯瞰すると、真新
しい住居、商店、旅館、神社、学校、駅に加え、道路、橋等全ての建造物が、山の中腹に移されていました。
新しい街ができたものの、以前の街が湖底に沈んでしまうのかと思うと一抹の寂しさが残るものです。（記・桑田）

今年のバレンタインデーは日曜日です。ある方々はラッキーと喜び、ある方々はチョコが・・・とがっかり
されているのかな？ご安心ください。今月号のほっと一息は“I LOVE 家族”を
テーマに家族で楽しくバレンタインを祝いましょうと、みんなで召し上がる
シフォンケーキをご紹介しました。これなら大きなケーキが出来上がります。
どうぞ、ご家族で楽しい日曜日をお過ごしください。（記・小野）



近畿複写産業協同組合